

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 事業名           | 「トヨオカフルーツエール」普及・PR事業         |
| 事業主体<br>(連絡先) | 豊丘村                          |
| 事業区分          | (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業  |
| 事業タイプ         | ソフト                          |
| 総事業費          | 495,394 円 (うち支援金: 234,000 円) |

#### 事業内容

豊丘村と、豊丘村の農産果物のPRのため、『「トヨオカフルーツエール」普及・PR事業』を行いました。

令和元年度から果物(桃)を原料としたビール(税法上は発泡酒)「トヨオカフルーツエール 桃の誘惑」を製造・販売し、令和2年度も実行委員会で普及活動を行いました。

今年度は、この商品から豊丘村を知ってもらい、豊丘村=おいしい果物が豊富にある村というイメージを定着させ、商品だけでなく、果物狩りや農産物の購入のために、今後、豊丘村へ足を運んでもらう機会へと繋げるため、「村外」「地域外」もターゲットとしてPRしました。

解禁イベントとして「豊丘オクトーバーフェスト」を道の駅にて開催しました。「豊丘村にこの時期に行けばフルーツエールが味わえる」といった恒例イベントに育て上げ、商品をきっかけに豊丘村へ足を運んでもらえる機会をつくっていきます。

加えて、商品パンフレット・お土産用の箱も作成し、PRに活用しました。

また、ふるさと納税の返礼品とし、地域外へのPRをしました。



【豊丘オクトーバーフェスト】

#### 事業効果

①令和元年度に引き続き、生食用としてJAへ出荷ができない桃の出荷を呼びかけました。今年度は、モモ穿孔細菌病の流行により、生食出荷ができないものが多く、そのようなものを原料として使用することにより、農産物(果物)の販路拡大と農業所得の向上が見込まれます。また、生産者がイベントに参加することにより、意欲向上にも繋がりました。

②ふるさと納税の返礼品としたところ、クラフトビールファンが申し込んでくれ、地域外の方が、商品から豊丘村の農産物を知ってもらうきっかけとなりました。

③道の駅にて開催した解禁イベントには多くの方が参加し、その日に用意していた商品が、予定よりも早く終了してしまいました。その日以降も商品を求めて道の駅へ足を運んでくれる人が多く、誘客につながりました。

④近隣町村と連携し、解禁イベントに酒類の特産品を集め、それぞれのファンによる相乗効果を見込んでいましたが、新型コロナウイルスの影響により、開催を断念しました。

#### 【目標・ねらい】

- ①果物を原材料とした商品の製造・販売・PRによる農業振興
- ②地域外をターゲットとした、知名度向上
- ③お土産品として販売することによる道の駅への誘客

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

村内だけでなく地域外へのPRにより、豊丘村の農産物の知名度向上につながった。

また、規格外の農産物の使用と、豊丘村の農産物のPRにより、生産者支援と、農業振興の一端を担うことができた。

#### 今後の取り組み

「桃」を使用したフルーツエールのほかに、ほかの果物でもフルーツエールを開発し、商品から、豊丘村=おいしい果物が豊富にある村というイメージを定着させ、今後、果物狩りや農産物の購入のために豊丘村へ足を運んでもらう機会へと繋げます。

また、今回実現できなかった、近隣町村の特産品となっている酒類(シードル、ワイン、発泡酒等)を集めたイベントを開催し、それぞれのファンによる、普及の相乗効果を見込みます。